


おおふなと 社協だより

 ふれあいネットワーク

2017年 9月号



【特集】赤い羽根共同募金スタート……………	2~3
ママの活躍を応援しています! ……………	4
浦浜高砂クラブ 憩の家……………	4
高校生ボランティアスクール……………	5
自分たちの強みを活かした被災地支援……………	5
お知らせ……………	6~7
輝き人……………	8



今月の表紙

こんの りゅうき さとみ
今野隆輝さん・里美さん

ひびき つばさ
響君・さくらちゃん・翼ちゃん
(15才) (13才) (10才)





赤い羽根共同募金スタート 地域福祉の課題解決に向けて

赤い羽根共同募金スタート

10月1日から全国一斉に赤い羽根共同募金運動が開始され、当市においても同日から12月31日まで展開されます。

共同募金運動は、昭和22年にスタートした「国民たすけあい運動」を制度化したもので、今年で71年目を迎えます。開始当初は、戦後復興の一助として戦災孤児を預かる民間福祉施設などの資金不足を補うことを目的としていましたが、現在はさまざまな地域福祉の課題解決に取り組む民間団体を支援する仕組みとして位置づけられ、施設や車輛の整備、住民福祉活動の支援などに活用されています。また、当市も含めた震災被災地においては、新たな地域でのコミュニティ構築に向けたサロン活動の支援等にも活用されています。



「今度は自分たちが助ける番」と、大分豪雨災害義援金の募金に取り組みました。(赤崎小学校児童会)

約70%が自分たちの町に

共同募金は一般募金と歳末たすけあい募金の二種類があります。一般募金は地域福祉活動を行っている団体への助成等、歳末たすけあい募金は新たな年を迎える時期に、支援を要する人たちを支える活動に活用されます。

これらの募金は、事前に使い道を決め、その活動に必要な金額(目標額)を設定してから募金活動を行うため計画募金と呼ばれています。各世帯の目安額を示して募金を行うのは、この目標額達成に向けて取り組むためです。

一般募金に寄せられた募金は、次年度の活動費用として活用されますが、その金額の約70%が募金された地域で、残りの約30%が都道府県の範囲内で、広域的な課題解決のために活用されます。

災害時の被災地支援にも活用

国内での災害発生時には義援金の受付や被災地でのボランティア活動等を支援する募金(ボラサポ募金)も行っており、被災者支援の活動にも取り組んでいます。

また、寄せられた募金から3%を限度に、災害等準備金として積み立てされています。この積立金

は、災害発生時にボランティアの活動拠点となる、災害ボランティアセンターの活動資金として活用され、東日本大震災発生時には、大船渡市をはじめ東北3県97か所の災害ボランティアセンターに対し、約7億1千万円の助成が行われました。

29年度配分金の使い道

本年度の大船渡市共同募金委員会における配分金の使い道は、社協だよりやホームページ管理等の広報活動費に47%、サロン活動助成や出会い支援事業、社会福祉大会開催費等の福祉のまちづくり事業に20%、敬老記念品贈呈事業に18%、ボランティア活動センター運営費やボランティア講座開催費用に13%、福祉教育事業費に2%ずつ活用される予定です。

大船渡市共同募金委員会における募金活動

大船渡市共同募金委員会(会長:戸田公明市長)では、今年も世帯を対象とした「戸別募金」を中心に募金運動を展開します。募金目標額は、一般募金が650万円、歳末たすけあい募金が350万円に設定しています。戸別募金にお



立根保育園児も街頭募金に参加しました
(昨年10月3日:マイヤインター店にて)

いては、一般募金が一世帯あたり500円、歳末たすけあい募金が200円を目安額として協力をお願いいたします。

戸別募金のほか、市内店舗にて協力を呼びかける「街頭募金」や企業を対象とした「法人募金」、福祉教育の一環として学校単位で取り組む「学校募金」も実施します。

「街頭募金」は、10月2日(月)に大船渡市地域婦人団体連絡協議会、盛保育園、大船渡保育園、明和保育園、立根保育園、猪川保育園の皆さんのご協力のもと、サンリア、マイヤ大船渡店・赤崎店・インター店の4か所にて実施します。時間はいずれも10時から15時

(マイヤ大船渡店のみ15時45分)までです。

共同募金はボランティア活動の一つであり、地域の課題解決につながる仕組みとなっています。募金運動の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。

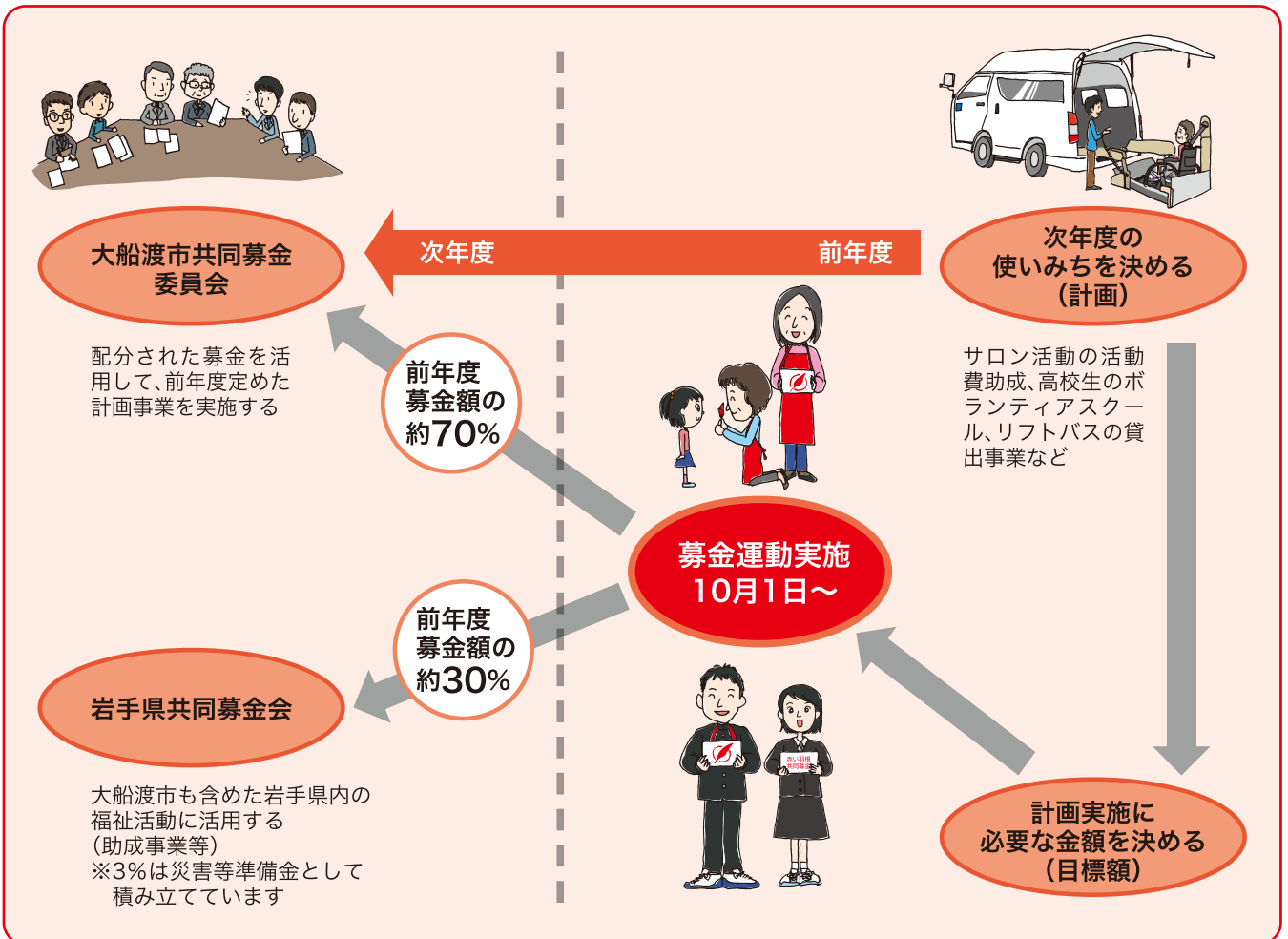
岩手県共同募金会助成事業

被災地住民支え合い活動助成

岩手県共同募金会では、全国から中央募金会に寄せられた募金を活用して、東日本大震災被災地の復興に向け、コミュニティ再生等を目的とした活動を行っている団体に対し助成事業を行っています。

県内の仮設住宅または復興公営住宅等の被災住民に対し、①孤立を防ぐ活動、②日常生活を支える活動、③コミュニティ再生を目的とした活動が助成の対象となります。また、組織構成は当事者、支援者のいずれも対象となります。

詳しくは、大船渡市共同募金委員会(「大船渡市社会福祉協議会」内)まで、お問い合わせください。



わいわいステーション ママの活躍を応援しています！

わいわいステーションでは、親子の遊びや交流の場の提供に加え、子育て等に役立つ講習会を行っています。

今年度は、様々な専門家の先生を招いての講習会だけでなく、わいわいステーションを利用するママが持つ資格を活かして「筆文字」「パステルアート」「ベビードダンス」「ハンドメイド（タッセルキーホルダー）」などの講習会も行いました。



参加者から好評を得たハンドパラフィンパック。

子育てママのリフレッシュを目的に開催した「タイ古式マッサージ・ハンドパラフィンパック」で講師を勤めた佐藤春華さんは「仕事を辞めてから4年、もう絶対できないと思っていて、家族にもやりたいと言いつつ、家族にもやりたいたいと言いつつ、ずっと自分の気持ちを抑えてきたが、子どもがいても自分の好きなことに一生懸命な人を見ると羨ましくて…。でも、思いきってやってみたら、たくさんの方から『気持ちよかった』と言ってもらえた。またこうして人を癒すことができ、最高に嬉しい。幸せです」と話してくれました。

わいわいステーションは、子供の成長や子育て支援だけでなく、ママの活躍も応援しています。これからも子育てママの視点から様々な講習会を開催していきますので、お気軽にご参加ください。

気軽に集える場所を 浦浜高砂クラブ

憩の家



今年6月、三陸町越喜来地域に、新たなサロンが誕生しました。

サロン立ち上げの中心となった、浦浜高砂老人クラブ女性部では、以前から友愛活動として高齢者宅の訪問をしています。世話役の佐藤紘子代表と若林美枝子さんは「訪問となると身構えてしまう方もいる。自分から外に出て、気軽に来られるような場所を作りたいと思い、サロ



古着物や端切れを再利用して、オリジナルの手芸作品を作ります。

ン活動を始めた」と話します。8月23日に三陸公民館で開催されたサロンには、68歳から94歳までの11人が参加。お手製の青紫蘇なべやきや、きゅうりの漬物をお茶のお供に、地域行事や提供されたお茶請けの作り方などで会話が弾みました。

この日は、手作りの道具を使って手提げ作り。完成した作品を、10月に開催される三陸地区文化祭へ出品することを目標に取り組みました。

参加者の河野禎子さん(72)は「高台に住んでいます、まだ近所づきあいも少なく、声を掛けてもらって参加した。一人で散歩するよりも、月2回ここへ来て、話をしようと思っている」とのこと。

公営住宅に住む坂本喜一郎さん(82)は「同級生と顔を合わせるのが楽しみ。今日も、昔お医者さんごっこをした3人の同級生と会えた」と笑顔で話してくれました。

大学生の先輩から学ぶ

高校生ボランティアスクール



次世代の地域福祉活動の担い手育成を目的に、8月13日に岩手県立大学にて、高校生ボランティアアスクールを開催しました。同大（高橋麟太郎代表）の学生と大船渡高校、大船渡東高校の高校生、合わせて15人が参加し、ボランティアについて考え、交流を図りました。



積極的に意見を発言し、ボランティアについて理解を深めました。

続いて「ボランティアの条件」について話し合い、「相手が満足する」「報酬を目的としない」「自主的であるなど、学生たちが考えた条件を発表。その後講師から、発表された条件に加えて、ボランティアには先駆性や創造性という原理もある」と説明がありました。

後半は、大学生が主体となり活動しているボランティア団体の紹介や、大船渡で自分たちができるボランティア活動の企画をしました。あるグループでは「被災世帯の多い末崎町で、清掃活動と食事会を行う。清掃活動は成果が目に見え、気軽に続けられるのでコミュニティ作りにもつながる」という企画が発表されました。

参加高校生からは「高校ではやっていない大学生の自発的な活動に驚いた」「ボランティアについて他校生・大学生と熱く語り合うことができて良かった」「ボランティアには沢山の種類があり、自分たちでも生み出していきたい」と感想が述べられました。

高校球児がボランティア

「自分達の強みを活かした被災地支援」

8月1日、岩手県立高田高校野球部は、7月22日からの大雨により住宅等へ大きな被害が発生した秋田県大仙市でボランティア活動を行いました。

3年の大澤将史君（赤崎町在住）と志田海杜君（同）は、「東日本大震災後、これまでたくさんの方々に支援してもらってきたので、野球を通して鍛えてきた体力と精神力を活かし、今度は自分達が支援したい」「ご支援い



恩返しの思いを熱く語ってくれた大澤君（右側）と志田君（左側）

ただいた方々へ恩返しのできるチャンスが巡ってきた」と意欲的に参加しました。

主な作業は、住宅に入り込んだ泥を取り除く作業や、ゴミの片づけ、くぎ抜きなどの力仕事。床下に溜まった泥を取り除く際は、狭く薄暗い床下にもぐり込み、ライトで照らしながら全身泥だらけになって作業にあたりました。

「慣れない作業は大変だったけれど苦には思わなかった。でも、被害の酷さに、6年前の震災当時の記憶が甦り、思わず言葉を失ってしまった」と大澤君。作業を終えた時に、そのお宅に住む方が泣きながら「ありがとう」という言葉をかけてくれたことが忘れられないそうです。

志田君は「ボランティア活動は、被災地だけでなく身近なところでもできると思う。まずは、あいさつなど、普段の生活で自分達が元気な姿を見せることで地域を元気にしたい」と話してくれました。

ほいくしカフェのご案内

保育士の仕事に関する情報提供を、カフェ形式で行います。ブランクのある方や保育の仕事を考えている方、お子様連れも歓迎。

日時 10月20日(金) 午前10時～正午
会場 大船渡市Y・Sセンター(和室)
受講料 無料
対象 保育士資格を持っていて、現在保育士として働いていない方
定員 20名

ちびっこ広場のご案内

芝生の広場で走ったり、いろいろなおもちゃで遊んだりしましょう。ベビーヨガ教室やハンドメイドワークショップなど、大人も子どもも楽しめる企画がたくさんあり、一日楽しめます。

日時 10月6日(金) 午前10時～午後3時
会場 キャッセン大船渡コミュニティスペース・千年広場
受講料 無料
対象 乳幼児の子育て中の親子、地域の方

* 寄附受入報告

8月に、次の方々からご寄附をいただきました。コミュニティの再形成を支援する事業に活用します。ありがとうございました。

復興支援金

株式会社ミチノク様

* 共同募金情報

8月に、次の方々から募金・義援金を預かりました。ありがとうございました。なお、福岡県共同募金会による「平成29年7月5日からの大雨災害義援金」と「大分県豪雨災害義援金」の受付は、平成29年12月28日まで延長となりました。

災害たすけあい義援金

(福岡県大雨災害義援金)
大船渡市立赤崎中学校様

(大分県豪雨災害義援金)
赤崎小学校児童会様
太平洋セメント株式会社大船渡工場大船渡東高同窓会様
大船渡市立赤崎中学校様

(秋田県大雨災害義援金)
匿名2件

「募集」「イベント」「お知らせ」など暮らしに役立つ情報をお届けします。



申込・問い合わせ先 大船渡市社会福祉協議会
電話 0192(27)0001(代表)

* 支えあいまちづくり事業情報

陽だまりサロン

誰でも参加できるサロンです。ご近所お誘いあわせの上、お近くのサロンへお越しください。

時間 午前10時～正午(猪川地区公民館でのサロンは午後1時まで)

内容 血圧測定、軽体操、ゲーム、手芸、お茶っこなど

陽だまりサロン日程(10月)

開催日	会場
4日(水)	崎浜公民館
6日(金)	吉浜地区拠点センター
10日(火)	碁石コミュニティセンター 田代屋敷公民館
11日(水)	鷹生公民館
18日(水)	崎浜公民館
20日(金)	下中井公民館
24日(火)	猪川地区公民館
27日(金)	綾姫ホール

* 子育て関連情報

おでかけひろば



子育て親子の交流の場です。リアスホールでの「おでかけひろば」は、慢性疾患、発達障害等で自宅療養中のお子さんと家族が対象です。

時間 午前10時～正午(大船渡地区公民館での「おでかけひろば」は、午後1時30分～3時30分)

おでかけひろば日程(10月)

開催日	会場
10日(火)	大船渡地区公民館
12日(木)	リアスホール
14日(土)	居場所ハウス
25日(水)	カリタス大船渡 地ノ森いこいの家



*大船渡市Y・Sセンター情報

プール臨時休業のお知らせ

水の入れ替え作業のため、10月23日(月)から11月6日(月)までの間、プールを休業します。この間、プール以外の施設(トレーニングルーム、浴室、遊戯室など)は通常通り利用できます。

法テラス気仙情報

弁護士や司法書士による無料法律相談を行っています。秘密は固く守られますので、安心してご利用ください。相談時間は1回30分で、予約者を優先します。

	時間帯	月	火	水	木	金	土
弁護士	昼	●	●		●	●	
	夜				▲ 第1 第3		
司法書士	昼		▲ 第2	●			
税理士	昼			▲ 第2 第4			
社会保険 労務士	昼			▲ 第2			

相談時間(4月~11月)

昼…午前10時~午後4時
夜…午後6時~8時

その他 毎月第2火曜日には、市役所三陸支所で司法書士が相談に応じます。午前10時~午後3時

申込・問い合わせ先

法テラス気仙(盛町字宇津野沢9-5、電話050-3383-1402) 午前9時~午後5時

*ボランティア情報

ボランティア養成講座(要約筆記教室)

聴覚に障害のある人のために、話されている内容を要約し、文字として伝える活動を学ぶための教室です。

日時 10月24日、31日、11月7日

(いずれも火曜日) 午後7時~9時

会場 大船渡市総合福祉センター(学習室)

受講料 無料

定員 15名

*岩手県福祉人材センター情報

介護のしごと相談

キャリア支援員が福祉の職場に就職したい方などの相談に応じます。相談は、事前予約の方を優先します。

介護のしごと相談(10月)

開催日	会場	時間
2日(月)	Y・Sセンター	午前9時~午後4時
12日(木)	ハローワーク	午前10時~正午
16日(月)	Y・Sセンター	午前9時~午後4時
26日(木)	ハローワーク	午前10時~正午
30日(月)	Y・Sセンター	午前9時~午後4時

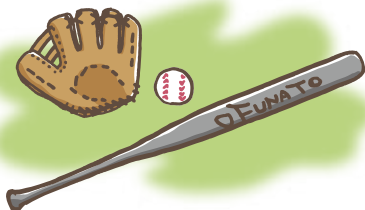
申込・問い合わせ先

岩手県福祉人材センター・坂本さん
電話 080-8201-0200

今月の表紙

今 野 隆 輝 さん
里 美 さん
響 君 (15才)
さくら ちゃん (13才)
翼 ちゃん (10才)
(猪川町在住)

野球三兄妹の今野家。この夏、響くんはアメリカへ野球留学、さくらちゃんと翼ちゃんは、それぞれ、女子野球大阪大会、スポ少全国大会に出場しました。



10月号課題「遊ぶ」

締め切り
10月5日(木) **必着**。
1人1句。
(自信作をひとつ)
はがき使用。

投句先
立根町字下欠125-12
「Y・Sセンター」内
大船渡市
社会福祉協議会
「ふくし川柳」係

その他
作品によっては、
添削する場合があります。
投句者の氏名にはフリガナをつけてください。

期待に燃えるものが玉手箱の中に……。どんなものが入っているか気になるところ。いくつになっても今が青春だと思ってる、私も生きて行きたいと思ってる。

《佳作》
残り火も 期待に燃える 玉手箱

立・武田 みつ

「ふくし川柳」

課題「雑詠」 富谷英雄 選

近頃は早寝早起き草退治
美輪さんの「ヨイトマケ」聴き父母思う
待つ人へ匂いが先に振る舞われ
一日を過ごしてみれば明日が見え
越・平田 栄夫
大・新沼都紀子
大・吉田 國子
赤・佐々木敦子

輝き人

このおわこ
今野 オワ子さん (67歳)



平成24年に赤崎町佐野ノルディックウォーキングサークルを結成。佐野地区での活動を中心としながら、市内のノルディックウォーキング教室で指導している。(日本ノルディックフィットネス協会公認インストラクター) 赤崎町在住。

寝たきり予防を地域の活動から発信!

●ノルディックウォーキングとの出会い

もともと体を動かすことが好きでバレエボールなど様々なスポーツをやってきましたが、震災後に地域で行われていた体操教室の先生に紹介され、ノルディックウォーキングに出会いました。最初は「歩く」という日常生活動作とあまり変わらないものをイメージして参加しましたが、足と手と一緒に動いてしまったり、筋肉痛で全身が痛くなりました。慣れるまで時間はかかりましたが、ハイカラな言葉に心をつかまれ、新鮮な気持ちで取り組めたことを覚えていきます。

●誰にでも出来る運動

ノルディックウォーキングはフィンランドで生まれたスポーツで、ノルディックスキーの夏場

の練習法として生まれたと聞いています。「ボール」と呼ばれるスティックを手に持ち、全身を使っ

て歩きます。足を踵から地面につけることで、膝に負担が少なく歩くことが出来るんです。運動前には入念なストレッチを行います。歩くことよりもストレッチを丁寧に行い、筋肉を細部まで動かすことがとても大事だと思うからです。

月に1度、神奈川の先生から教わりながら活動していましたが、地域のみんなで積極的に取り組もうとサークルを結成しました。現在は33名の会員で週2回活動しています。

●心身ともにリフレッシュ!

地域住民が参加できるように近場で開催しています。形式にこだわらず、怪我をしない

ように自分なりの歩き方で楽しんでもらうことを大事にしています。

会話をしながら歩くことで、心身ともにリフレッシュすることもできます。話すことが楽しくて、歩いた後も居残りしている方々が多いんですよ。

●交流の輪を広げながら

他の地域や老人クラブに頼まれて出前講座を実施することで新しい出会いにつながっています。資格を持った指導者が増え、ノルディックウォーキングの素晴らしさを多くの人に知ってもらうことが出来たら素敵ですね。

